

平成23年11月13日
今週のベストショット



H23. 11. 13 奈多グラウンド 新町パイレーツ 対 奈多クラブ戦
先制の2点タイムリーを放った奈多クラブ今林賢人選手を労う今林辰也監督。

(写真：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘)

奈多グラウンド

新町パイレーツ 000010 1 負投手：吉田
奈多クラブ 041010 6 勝投手：今林（瑠）

二回裏、奈多クラブは二死満塁のチャンスから一番今林賢人選手、2番高瀬大輔選手の二連続2点タイムリーで4点を先取した。5-0で迎えた五回表パイレーツは、1番八坂亮一選手の内野安打で1点を返すが、反撃も及ばず奈多クラブが勝利を挙げた。（記事 レッドサンデーズ鳥羽晃弘）



強力パイレーツ打線を1点に抑え、勝利を挙げた
奈多クラブ今林瑠投手。



緩急自在のピッチングを披露するも勝利ならず
パイレーツ吉田崇浩投手。

和白交流グラウンド

塩浜ジャガーズ 0 1 0 0 0 0 1 負投手：内田 HR：なし
ソルトベイズスターズ 0 2 0 0 0 1 × 3 勝投手：中村（耕） HR：なし

ジャガーズは二回表、一死二塁の場面で6番内田耕司選手のセンター前タイムリーにて1点を先制するが、ソルトもその裏、相手の失策を有効に生かし、2点を奪い逆転に成功する。その後はチャンスがありながらも、両チームとも点が奪えない。動いたのは六回。ソルトは二死二・三塁の場面で、中村喜一選手のショートへの内野安打で1点を奪う。最終回、ジャガーズも先頭打者が出塁するも、後続が倒れ試合終了。ジャガーズは7安打と、ソルトの2安打を上回っていたが、失策が多く、その失策を生かしたソルトに軍配があがった。（記事：三友クラブ 山本健一）

第30回東区選手権大会報告（於：雁ノ巣レクリエーションセンター）

東区を代表する各リーグのトップクラスばかり16チームでのトーナメントで、東区一のソフトボールチームを決める東区選手権が行われた。和白リーグからは、奈多サンデーズ・奈多フェニックス・三苦三球会・三苦ホーネッツの4チームが参加。開会式では、1番くじを引いた奈多サンデーズの八島久徳主将が選手宣誓を行ない、緊張のあまり声高らかに自チーム名を間違えるというアクシデントがありながらも熱い熱戦の幕が開いた。奈多サンデーズと奇しくも2番くじを引いた三苦ホーネッツとの和白リーグ対決となった一回戦は、奈多サンデーズがリーグ戦での敗戦の借りを返す形となり二回戦に進出。3番くじを引いた奈多フェニックスは、一回戦のAOBA'Sに勝てば奈多サンデーズとの対戦だったが、残念ながら敗退。三苦三球会だけが別球場だったが、こちらも愛球会に敗れ、奈多サンデーズ以外全チームが初戦で涙を飲んだ。奈多サンデーズは二回戦でそのAOBA'Sを破り、SPOとの準決勝に進んだが、最終回一打逆転サヨナラのチャンスを作るも、2-0で敗れ三位。この大会では、奈多フェニックス・三苦三球会・三苦ホーネッツともに主戦投手の不在が響き結果を残せなかったが、東区にはまだまだ強いチームが沢山あることを実感したのではないだろうか。和白リーグだけに留まらず、是非ともこの空気を他のチームの方々にも味わって頂きたい。年に一度しか出会えない他のリーグの力や、自チームの力を測るにはもってこいの大会だ。来年は和白リーグでの上位独占を狙いたい！（記事：奈多サンデーズ 八島久徳）



三位の賞状とカップを手に、来年こそは3年ぶりの優勝を！と心に期す奈多サンデーズの面々。

第21週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

3週雨で試合が流れ、ようやく開催されましたが、東区選手権に奈多サンデーズ・奈多フェニックス・三苦三球会・三苦ホーネットスの4チームが参加した関係で、2試合だけの開催でした。

奈多グラウンドでは、東区大会においてフェニックスの助っ人としても登板した奈多クラブ今林瑠投手の好投でパイレーツに勝利しました。和白交流グラウンドでは、普段試合では使わない球場を少ないチャンスを活かしてソルトベイスターズが制しました。この試合の写真ですが、SDカードの不調があったようで、楽しみにされていた方には申し訳なく思います。

さて、11月20日は、

東区選手権を経験した2チームの熱戦に期待。 三苦ホーネットス VS 奈多フェニックス (奈多グラウンド)
ウインズWヘッダー第1試合、優勝候補の一角・三苦三球会 VS 新町ウインズ (和白交流グラウンド)
ウインズWヘッダー第2試合、奪三振王を狙う足立投手擁する三友クラブ VS 新町ウインズ (和白交流グラウンド2)

雨の影響で試合日程が度々変わりますが、モチベーション保っていきましょう。